

土砂災害

関連
WEBサイト
(4ページ参照)

気象庁	土砂災害警戒情報	Q
気象庁	大雨警報(土砂災害)の危険度分布	Q
福岡県	土砂災害危険度情報	Q

土砂災害の種類とその前兆現象

土砂災害が発生するおそれのある区域として、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を県が指定しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

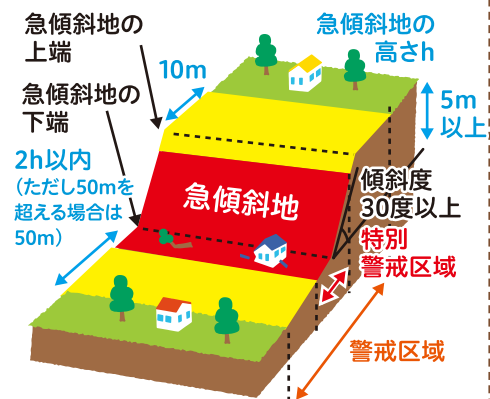
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(急傾斜地の崩壊) 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

前兆現象

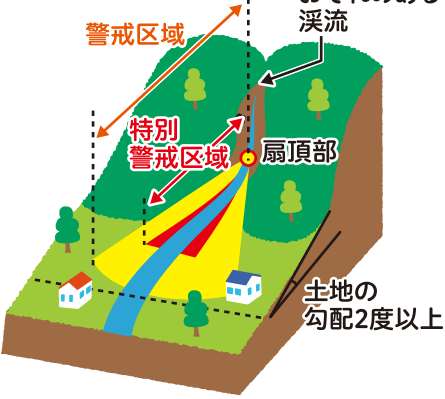
- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がバラバラ落ちてくる。

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(土石流) 特別警戒区域(土石流)

前兆現象

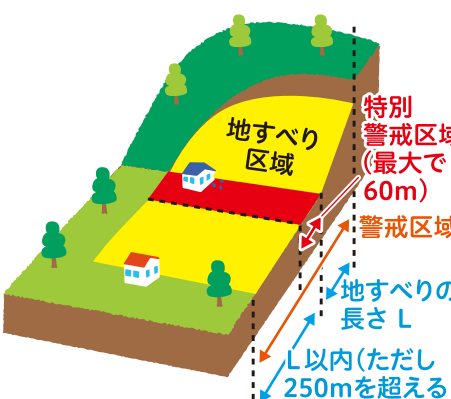
- 山鳴りがする。
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



○区域の指定基準



○ハザードマップの表示

警戒区域(地すべり)

前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

土砂災害に備えて

危険が迫ってきたら 土砂災害警戒情報

大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

土砂災害警戒情報が発表されたときは『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。

情報は市町村単位で発表されるので、住民のみなさんの自主避難の判断に活用できます。

土砂災害警戒情報が発表されたら…

- 那珂川市が発表する避難情報に注意する。
- ハザードマップを再確認する。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を確認したらすぐに避難する。

大雨
注意報

大雨
警報

土砂災害
警戒情報

非常に
危険な
状態です。

QRコード
からも確認
できます

リアルタイム に色で分かる危険なところ!! /

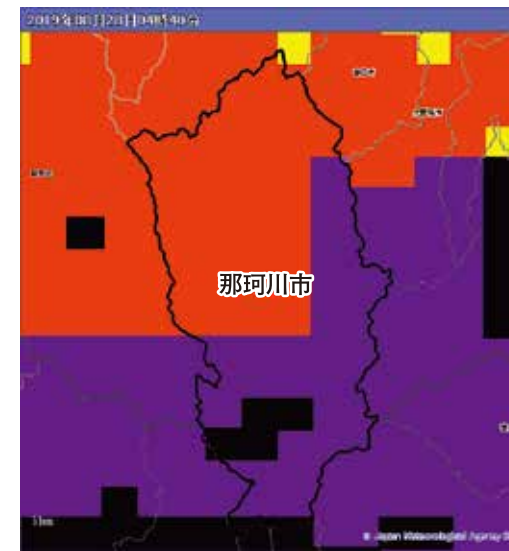


大雨警報(土砂災害)の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方(メッシュ)の領域ごとに段階に応じて色分け表示しています。避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値(10分ごとに更新)を用いており、大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録の短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



※気象庁ホームページより(一部加工)

色が持つ意味	説明	相当する警戒レベル
災害切迫	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫もしくは土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。 直ちに身の安全を確保。 ※この状況になる前に避難を完了する。	5
危険 ※2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。 土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	4
警戒 ※2時間先までに警戒基準に到達すると予想	土砂災害への警戒が必要な状況。 高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外も避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	3
注意 ※2時間先までに注意報基準に到達すると予想	土砂災害への注意が必要な状況。 ハザードマップ等で避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	2
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

いざ、避難

土砂災害時の注意点

● 危険を感じたらすぐに避難

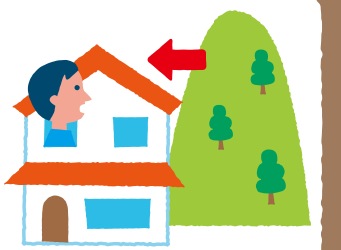
土砂災害の前兆現象に気付いたり土砂災害警戒情報が発表されたりした場合など、身の回りの危険を感じたら、早めに近くの安全な場所へ避難してください。

● 他の危険区域を通らない

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

● やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



● 雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも大雨警報が発表されている間は、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。